

世界大会・ナガサキデー集会

8日に開かれた原水爆禁止の30年世界大会・ナガサキデー集会(歴史を継ぐ)では、国連代表、海外の政府、代表、被爆者が「核なき世界」へ道標を照らすとともに、日本国内のたたかいかも交流しました。

校庭が火葬場 死の臭い



長崎で13歳の時被爆しました。家の周囲で木を焼んでいた時、突然身の回りが真っ暗になりました。周囲が火に燃えていた。火の音も聞こえなかった。おぼろげに、私が見え、目の前を覆い伏せ、おぼろげな光が、私を照らした。気が失った。大火災により空は真っ暗で、火の音も聞こえなかった。

特別キャンペーン
「被爆者の声を世界に」

日本原水爆被害者団体協議会
代表委員

田中 照巳さん(91)

涙になりました。真っ黒な中に赤い太陽が照えまわりました。非人道的な何かを演習としてかかっていたんです。学校の職員は、100人以上のけが人が通はれ、婦人たちが救護活動をおこなっていました。校庭は、毎日毎日火葬場として使われ、街は死の臭いが漂いました。1頭の原爆でも私は5人の親族を亡くしました。被爆者たちが、核兵器をなくすための運動を始めています。

人民の団結した運動で



原水爆禁止世界大会は、核兵器の廃絶を世界に呼びかけるための運動です。核兵器の廃絶は、世界の平和と安全のために必要です。核兵器の廃絶は、世界の人民の団結した運動で実現する必要があります。

マレーシア国連代表部常駐代表
アハマド・ファイザル・ムハマドさん

使用の威嚇もなくなった核兵器は、私たちが核兵器の廃絶を求めたい。核兵器の廃絶は、世界の平和と安全のために必要です。核兵器の廃絶は、世界の人民の団結した運動で実現する必要があります。

核兵器のない世界へ決意新た

核廃絶へ世界は一丸に



国連事務次長兼核兵器廃絶推進部長、中満 泉さん。核兵器の廃絶は、世界の平和と安全のために必要です。核兵器の廃絶は、世界の人民の団結した運動で実現する必要があります。

国連事務次長・軍縮担当上級代表
中満 泉さん

核兵器の廃絶は、世界の平和と安全のために必要です。核兵器の廃絶は、世界の人民の団結した運動で実現する必要があります。核兵器の廃絶は、世界の人民の団結した運動で実現する必要があります。

核兵器で暴力の連鎖

東京都杉並区長 岸本聡子さん

来賓あいさつ

原水爆禁止署名運動発祥の地、杉並から、世界大会に連帯メッセージを送れることを誇りに思います。

ウクライナ情勢におけるロシアの核使用の威嚇を見れば、核兵器は平和を守る道義ではなく、他国への脅しに使う武器だとわかりま



す。北朝鮮の核開発と日本韓の危険な軍事演習が繰り返

返されています。核兵器は戦争の抑止力どころか、持っているだけで不安と緊張、暴力の連鎖を生み出す悪魔の兵器だとわかりました。

一昨年、核兵器禁止条約が発効しました。日本という唯一の被爆国が核兵器禁止条約に背を向けていることは残念であり、恥ずかしいことです。核保有国や「核の傘」の下にいる国々こそ核廃絶の運動が必要

沖縄の選択を日本の選択へ

南西諸島の基地化反対運動交流

「沖縄の選択を日本の選択へ」大軍拡阻止、核兵器禁止条約に参加する日本を」では、沖縄・南西諸島の軍事基地化に反対するたかひに連帯して、国会議員、九州・沖縄の代表と各地の代表が発言し、運動を交流しました。



赤旗政闘衆議院議員

する国は、美しい大義名分を掲げるが、戦争には悪じかな」と指摘したところ、玉城デニー知事が「地域外交論」を新たに設置し、アジアとの交流に取り組んでいることを紹介。辺野古の問題をめぐって、建白書の提出から10年を迎えたことだ

九州・沖縄各県のリレートークで、住宅地の真ん中に長射程ミサイルの弾薬庫建設の動きに、住民の反対運動が広がっていることなどが報告されました。

次世代の決意では高校生から真ん中世代の取り組みが報告されました。

全国の高校生平和ゼミナールの高校生が、「商店街で核兵器禁止条約の批准を求める署名を4人で1時間かけて50筆集めた」(愛知)、「Q7」(主婦7カ国)サミットの首脳に核兵器廃絶を訴える署名を送った(東京)と報告しました。

オール沖縄一区代表で日本共産党の赤旗政闘衆議院議員が、沖縄の軍事基地強化と県民のたたかいを報告。沖縄戦の体験者でつくる「完全学徒の会」が声明を出し「戦争

ふれて、「沖縄と本土が

部小林美千さんが、毎

年子と私たちと折り鶴を折って広島に届けていることを紹介。平和の碑めぐりガイドとして活動する長崎民医連の小森恭平さんには、「理化学法士として働き、リハビリを行う患者の多くが被爆者です。医療の立場から世界平和に向けてできることをやっていきたい」と話しました。